



愛知県海岸漂着物環境学習プログラム

カッパの清吉と
海ごみのルーツを探ろう!

(小学校中学年以上対象)

カッパの清吉と 海ごみのルーツを探ろう!

目的

愛知県は、伊勢湾、三河湾、遠州灘に至る約594kmの長い海岸線を有し、その一部は国定公園に指定されるなど、良好な景観や環境の保全を行うべき海岸が多くあります。

海岸は陸と海が接し、さまざまな生きものが生息する貴重な場であり、海水浴等のレジャーや環境学習の場でもあります。また、漁業・観光など経済活動の場としても重要な役割を果たしています。

しかし一方で、近年、日本海側を中心に大量のごみが漂着する被害が報告されています。愛知県においても大量のごみが漂着し、良好な景観や環境の保全に支障が生じている地域もあります。

漂着ごみの多くは、陸域にあるごみが、海へとつながる水の流れを通じて海岸に漂着することや、海岸利用者によるごみ散乱・不法投棄に起因すると考えられています。漂着ごみの発生抑制を図るためには、県民一人ひとりが漂着ごみについての理解を深めることが大切です。

このプログラムは、漂着ごみの問題について、「気づき・考え・行動する」ために作成しました。

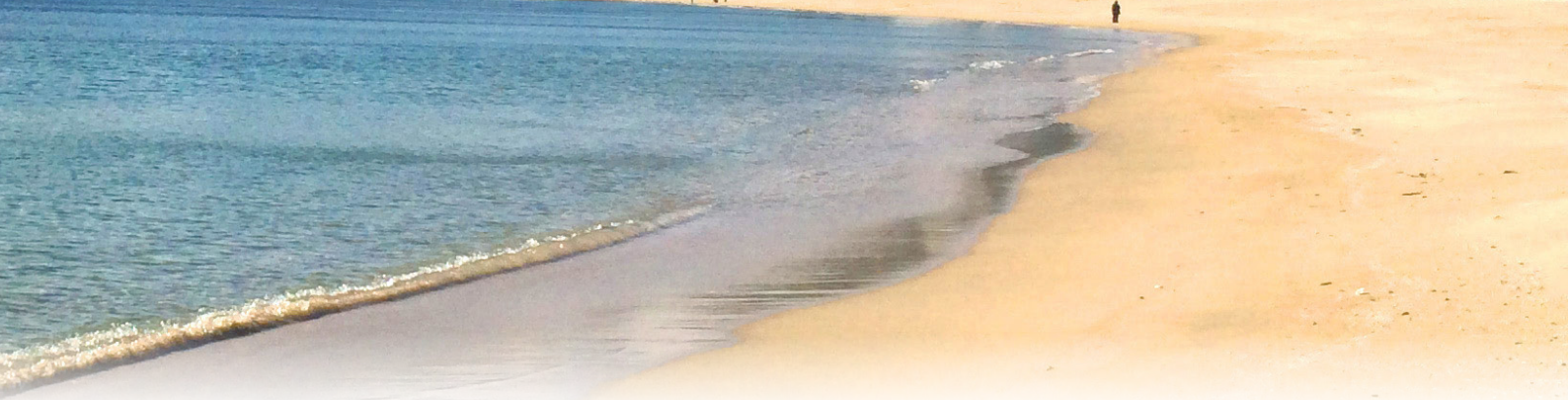
※本プログラムでは、主な対象である子どもたちにもイメージしやすい言葉とするため、また海岸に漂着するごみに加え、海上・海中・海底にあるごみまでより広く含んだ概念を表すため、「漂着ごみ」「海岸漂着物」「海上・海中・海底にあるごみ」をまとめて「海ごみ」と呼んでいます。

室内版の作成にあたって

愛知県が実施した河川ごみ回収調査(平成25、26年度実施)の結果によると、河川ごみの7割以上は、ペットボトル、食品容器等の日常生活から出るごみであり、ポイ捨てされたことにより生じたものであることがわかりました。中でも、プラスチック系のごみが多く、これらは長期間を経ても分解されないことから、生態系への悪影響も懸念されています。

河川を通して内陸部と海はつながっており、したがって海ごみはすべての県民に共通の問題です。

そこで、主に内陸部の県民の皆様への海ごみ問題啓発および内陸部におけるごみの発生抑制を目指し、海岸に行かなくても実施できる「室内版環境学習プログラム」を新たに作成しました。



環境学習プログラムの特徴

小学校中学年以上対象

カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう!

海に行かなくても、海ごみについて学ぶことができる室内用のプログラムです。

子どもたちが親しみやすい「カッパの清吉」や「ごみ妖怪」などのかわいいキャラクターを用いた動画やカードゲームで楽しく学ぶことができます。

このプログラムを通して、海からの恵み、海にごみがあること、海ごみが生きものに与える影響、海ごみと自分たちの生活のつながりについて考えます。

小学校の授業での活用

小学校の授業時間に合わせた45分間のプログラムになっています。

関連する単元・テーマの例

社会

ごみの処理

理科

流れる水の働き

総合的な学習の時間

自然環境・環境問題、廃棄物・リサイクル、川の上流の結びつき

ESD (持続可能な開発のための教育)としての活用

本プログラムは、「海岸に漂着するごみ」という課題が、自分たちの生活とかわるものであることに気づかせ、解決への行動を促すものであり、ESDの視点からの活用も大いに期待できるプログラムです。

あいちの 海ごみ問題

- 海ごみは、誤食やからまりなど、海辺の生きものを傷つけている
- 海ごみには、プラスチックや缶・びんなど、分解されないものも多い
- 私たちの出したごみが、ほかの国の海岸に流れ着いているかもしれない

ESDの視点

生態系や生物多様性にかかわる課題であること

次世代に影響を与える課題であること

地球規模の課題であること

小学校中学年以上対象環境学習プログラム カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう!

ねらい

- 愛知県の実地や生息する生きものや海の恵みへの興味・関心をもつ。
- 海岸に漂着する海ごみの現状を知り、海ごみは「誰が・どこで・どのように」生み出したか、海ごみが生きものなどに与える影響を考える。
- 海、川、街のつながりや、海ごみと自分たちの生活のつながり、ごみの発生抑制の重要性に気づき、日常生活での行動につなげる。

概要

カッパの清吉が登場する動画やオリジナルカードゲームを通して、海からの恵みや海にごみがあること、そして海ごみが生きものなどに与える影響について楽しく学びます。

対象 小学校中学年以上～

所要時間 45分

参加人数 自由 ※ゲームは1グループ4～6名程度(指導員1名)

●学習の流れ

導入

カッパや海ごみ妖怪の登場するお話(動画)を通して海ごみ問題や上下流のつながりを知る。



体験

カードゲームを通して海の恵みを認識するとともに、海ごみの発生原因や発生抑制について考える。



振り返り

日常生活での行動の大切さを理解する。



準備

①動画

「カッパの清吉と海のようにかい」

※PDF版を印刷することで、
絵本や紙芝居としても使用できます。



②カード

※4～6名程度のグループで1セット使用。
※貸出のほか、PDF版を印刷して
作成することもできます。



③ワークシート

清吉への手紙

今日はじめて書いたこと、おどろいたこと、思ったことを書こう。
浜にゴミをへらすためのアイデアと、
自分がこれからやってみようと思うことを書いて、清吉に送ってあげよう。

清吉へ

浜にゴミをへらすアイデア

自分がこれからやってみようと思うこと

日付 年 月 日 () 年 月 日

④その他

●動画再生機器

※DVD (貸出) もしくはYouTubeより視聴可能

教材の利用および貸出

DVDやカードは貸出していますので、気軽にお問い合わせください。

ワークシートはホームページからダウンロードし、コピーしてご利用ください。

※その他、必要な備品は、各自でご用意ください。

■貸出に関するお問い合わせ先

愛知県 環境部 資源循環推進課
一般廃棄物グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL:052-954-6234/FAX:052-953-7776
E-mail: junkan@pref.aichi.lg.jp



<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>

ホームページからも教材を
ダウンロードできます。

愛知のうみのコト 🔍

教材の使い方1 (カード)

●全部で15種類、30枚のカードがあります。神経衰弱のように絵を合わせて遊びます。

表面

- 愛知県の代表的な海の恵み(海産物)や特徴的な海辺の生きもの、実際に愛知の海岸でよくみられる海ごみが描かれています。
- カード名称部分の色分けは、そのものの属性によります(青=海の恵み・生きもの、緑=自然系海ごみ、オレンジ=事業系海ごみ、赤=生活系海ごみ)。
- カード下部に「一口メモ」を記載、生きものや海ごみの特徴などを紹介しています。

裏面

- カード下部に「ヒント」が記載されているので、ただカードの位置を記憶するだけでなく、ヒントを参考に何のカードなのか推理しながらゲームを行うことができます。



カード作りのポイント

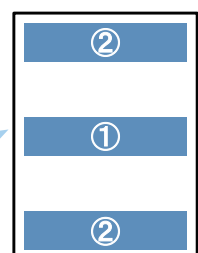
カードは、貸出を行っているほか、ホームページよりPDFデータをダウンロードして、作成することもできます。

「あいちのうみのコト」環境学習プログラム(室内版) 「カードゲーム」ダウンロードページ
http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/images/download/pdf/card_game.pdf

作り方

- ①厚手の用紙(「厚口」(紙厚0.9~0.13mm)推奨)に、片面ずつカラーで印刷します。
- ②一枚ずつ切り離し、裏表のセットを確認して、貼り合わせます。

両面テープがおすすめです。
まず中央のみテープを貼って位置決めをし(①)、そのあとに上下を貼る(②)と、きれいにつくることができます。



海の恵み・生きもの

※上下が裏表のセットになっています

海のめぐみ	海のめぐみ	海のめぐみ	海の生きもの	海の生きもの
アサリ	ガザミ	クルマエビ	スナメリ	アカウミガメ
みそ汁、スパゲッティーなど、いろいろな料理に使われている。	「ワタリガニ」とよばれるおいしいカニ。川の水が流れこむところが好き。	しまようががあり、まるまると車輪のように見えるので「くるまえばい」とよばれている。	イルカのなかま。海のごみをまちがえて食べてしまうことがある。	海にすむ大きなカメ。レジぶくろをクラゲとまちがえて食べてしまうことがある。

日本で一番多くとれるのは愛知県	日本で一番多くとれるのは愛知県	日本で2番目に多くとれるのは愛知県	伊勢湾や三河湾で見られる	たまごを産むために伊勢湾や三河湾の海岸にやってくる
アサリ	ガザミ	クルマエビ	スナメリ	アカウミガメ
潮干狩りに行ってたくさんとろう!	秋に最もたくさんとれる。カニみそやたまごもおいしい!	お刺身にして食べるとおいしい!	愛知の海に昔からいるが、数が減ってきている。	愛知の海岸にもやってきて、砂浜に穴をほってたまごを産む。

自然系海ごみ・事業系海ごみ

※上下が裏表のセットになっています

自然から出るごみ	自然から出るごみ	仕事で使うもの	仕事で使うもの	仕事で使うもの
流木	海そう (海岸に打ち上げられたもの)	苗ポット、肥料のふくら	発泡スチロール	漁もう
形の良いものを見つけたらおうちにさがそう!	海岸に流れ着いてくさってしまったものはとてもくさい。	農業で出るごみ。苗ポットは苗を育てるための容器。	野菜や魚などを運ぶときによく使われる。水や熱を通しにくい。	漁師さんが魚をとるときに使う道具。

山や川から流れつく	よごれた海にたくさん発生する	風に飛ばされやすい	けずれると小さなけらがたくさん出る	からまると大変
流木	海そう (海岸に打ち上げられたもの)	苗ポット、肥料のふくら	発泡スチロール	漁もう
山や河原の折れたえだや枯れた木が大雨で流されたもの。	時間はかかるが、自然にかえる。かたづけられる場合は、水分や塩分をふくむため大変。	苗ポットは、くりかえし使うことができるものもある。	小さなけらになると、拾えなくなる。魚や鳥などがまちがえて食べてしまうことがある。	切れたりして流されると、生きものや船のスクリューなどにからまる。生きものは動けなくなることもある。

※上下が裏表のセットになっています

くらしから出るごみ	くらしから出るごみ	くらしから出るごみ	くらしから出るごみ	くらしから出るごみ
プラスチック製品	ペットボトル	缶	びん	レジぶくろ
プラマークがついたものは、ごみぶくろ、プランターなどにリサイクルできる。	出かけるときは、水とうやマイボトルを持ち歩こう!	リサイクルされて、新しい缶や自動車部品などに生まれかわる。	回収された空きびんはあらって再利用したり、とかして新しいびんに生まれかわる。	買いものをするときは、マイバッグを用意して、よぶんなレジぶくろはことわろう!

太陽の光や波で細かくわれる	リサイクルでいろんなものに生まれかわる	きけんなものが中に残っていることもある	われるとあぶない	風に飛ばされやすい
プラスチック製品	ペットボトル	缶	びん	レジぶくろ
細かくなったものを、鳥や魚がまちがえて食べてしまうことがある。	たまごのパック、シャツのほか、新しいペットボトルにもリサイクルされる。	スプレーやガスの缶はとでもきけん。みつけてもこどもだけでさわらないようにしましょう。	われたびんだけががしてしまっても、拾うときは気をつけよう。	ウミガメが、クラゲとまちがえて食べてしまうことがある。

教材の使い方2(ワークシート)

●プログラムの振り返りを行うためのワークシートです。



カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう!

清吉への手紙

今日はじめて知ったこと、おどろいたこと、思ったことを書こう。

次に、海ごみをへらすためのアイデアと、

自分がこれからやってみようと思うことを書いて、清吉に教えてあげてね。

清吉へ

海ごみをへらすアイデア

自分がこれからやってみようと思うこと



日づけ 年 月 日 () なまえ より

「海ごみをへらすアイデア」

「自分がこれからやってみようと思うこと」



- 子どもたちから、幅広い意見が出るように促しましょう。
- 様々な場面でできることがあること、ごみを減らすためには、「すぐにできること」から「より発展的なこと」まで、さまざまな可能性が考えられることを伝えましょう。

すぐにできること



より発展的なこと

街・家にいるとき

- なるべくごみを出さない生活を送る
(余分なものは買わない、つめかえ商品やマイバッグを使う、ものを大切に長く使う等)
- ポイ捨てをしない、ポイ捨てされたごみを拾う
- ポイ捨てしている人を注意する
- 家族に海ごみの問題について伝える
- たくさんの友だちに海ごみについて話し、ポイ捨てしないように伝える
- 街でのクリーンアップ活動に参加する
- マイボトルなどを持っていくと、中身を入れてもらえるお店を利用する

海辺に行くとき

- 海水浴などで出たごみは、持ち帰る
- 風でもものが飛ばされないように気をつける
- 海岸で遊び道具や釣り道具を忘れて帰らないようにする
- 浜辺の生きものを見つけ、生きものに親しみを持つ
- 海岸でのクリーンアップ活動に参加する
- どんな種類の海ごみがあるか、調べてみる

大人になったとき／働く人ができること

- 仕事でなるべくごみが出ないようにする
(材料のムダを減らす、簡単な包装にする、不要物はリユース・リサイクルする等)
- 会社が、働いている人にごみ減量の重要性を伝える・教育する
- 自然に分解される素材を使う、開発する
- 会社でクリーンアップ活動に参加したり、グリーンアップを主催する団体の支援をする

学習の流れ

準備

パート	時間	活動内容	指導員が準備しておくこと
準備	—	・グループ分け ・机の配置	●4～6名程度のグループを作る。 ●グループごとに机をくっつける。

導入ストーリーを視聴する(7分)

パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
導入	1分	指導員の説明を聞く。	●プログラムの趣旨、全体の流れを説明する。 「愛知県の海岸にたくさんのごみが流れ着いています。その現状と原因・対策について、動画やカードゲームを使って学習します。」
上映	6分	導入ストーリーを視聴する。	●導入ストーリーの動画を流す。 「はじめに、『カッパの清吉と海のようかい』の動画を見ます。」 ※動画の最後で「私たちにできること」を例示しているため、児童に考えてもらいたい場合は物語が終了した時点で停止する。

絵合わせゲームを行う(15分)

パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
ゲーム説明	3分	準備。 ↓ 指導者の説明をきく。	●各グループにカード一式を配り、ゲームの説明をする。 ①「これは、海や海岸にあるものが描かれたカードです。今から、このカードを使って、絵合わせゲームを行います。」 ②「裏面(清吉の絵)を上にして、カードを並べてください。」 ③「ルールは、神経衰弱と同じです。裏面には、ヒントが書かれているので、上手に使ってください。」 ④「一つ約束があります。カードをめくったら、海や海岸にあるものの名前と、その特徴が書いてあるので、めくった人は必ずそれを声に出して読んでください。」 ⑤「時間は10分です。当たっても外れても、一回で次の人に交代して下さい。カードを多くとった人が勝ちです。」
ゲーム	12分	絵合わせゲームをする。	●ゲームの実施(10分間程度)。 「それではゲームを始めてください。」 ※少なくとも一巡するよう、声をかける。 ※全部終わっていないでも終了の声掛けをする。 ※残ったカードがあれば表向きにする。 ●グループごとの優勝者を発表する、拍手

カードの種類分けを行う(10分)

パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
種類分け① (色別)	5分	グループで協力してカードを色別に分け、海ごみにはどんな種類があり、どんな影響があるか考える。	●全てのカードを色別に分けさせる。 ●色ごとのグループについて考えるよう促す。 「青、緑、オレンジ、赤色は、それぞれどんなグループだと思いますか?」 ●海ごみにもいろいろな種類のものがあることを伝える。 「正解を発表します。青は海の恵み、緑は自然系海ごみ、オレンジは事業系海ごみ、赤は生活系海ごみです。」 ●海ごみが、様々な影響をもたらしていることを伝える。 「生活系海ごみ(赤色)の中で、ウミガメがクラゲとまちがえて食べてしまうごみはなんでしょう?」 「(児童)レジ袋です。」 「正解です。このように海ごみは、様々な悪い影響をもたらしています。」

種類分け② (発生源別)	5分	グループで協力して海ごみの中で、「海以外からくるもの」を探す。	<p>海ごみのカード(緑、オレンジ、赤色)の発生源を考えるよう促す。 「次に、海ごみの発生源について考えます。海ごみの中で、海以外からやってくるものを探してください。」</p> <p>●指名して、数名の児童に答えさせた後、発生源について考えるよう促す。 「海以外から来るごみは、どのように海にやって来るとおもいますか?」</p> <p>●内陸部から来るものも多いことを伝える。 「私たちの日常生活から出たごみが、川を流れて海ごみになることが多いです。海から離れたところのごみも海ごみになります。海ごみ問題は沿岸部の人だけの問題ではありません。」</p>
-----------------	----	---------------------------------	--

自分たちにできることを考える(5分)

パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
解説 共有	5分	<p>指導者の説明を聞き、海ごみを無くすために何ができるか考える。</p> <p>後片付けをする。</p>	<p>●海ごみによる影響を説明する。 ＜説明する内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物を傷つける、間違えて食べてしまう ・ごみを食べた魚を私たちが食べてしまうこともある ※マイクロプラスチックの説明も行う ・海岸が汚れる、潮干狩りや海水浴の邪魔になる ・船の航行や漁業の邪魔になる <p>●海ごみを無くすために、どんなことができるか考えるよう促す。 「海ごみを無くすために、私たちは何ができるのでしょうか。」</p> <p>＜期待する児童の意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨ては絶対にいけない。 ・ごみが風に飛ばされないよう注意する。 ・ごみを出さないように気をつける。 ・ごみを見かけたら、必ず拾う。 など <p>●カードを片付ける。</p>

自分を振り返る(8分)

パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
記入	5分	清吉への手紙を書く。	<p>●ワークシート「清吉への手紙」を配り、記入させる。 「それでは最後に、清吉くんへ手紙を書きましょう。」</p> <p>＜手紙に書く内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを通して学んだこと、気づいたこと ・海ごみを減らすためのアイデアや自分ができること
共有	3分	発表する。	<p>●指名し、数人に発表させる。 「書いた手紙の内容を発表してください。」 ※数人指名する。</p> <p>●全体のまとめを行う。 「大変素晴らしい内容でした。これからは、手紙に書いたことを実践できるように頑張っていきましょう。」 「今日、学んだことは、ぜひ、家族にも伝えてください。そして、どうしたら海ごみを減らすことができるか、家族でも話しあってください。」</p>

あいちの海の恵み

あいちの四季の魚

あいちの海では、伊勢湾・三河湾の豊かな栄養に育まれた、おいしい水産物がたくさん水揚げされます。愛知県では、県産水産物をPRするため、季節ごとの代表的な水産物を、「あいちの四季の魚」として選定しています。詳しくは愛知県農林水産部水産課のHPをご覧ください。 <http://www.pref.aichi.jp/suisan/>

	品 目	豆 知 識
春	アサリ	愛知県は漁獲量1位で、全国シェアの6割を占めます。春は身がたっぷりです。
	コウナゴ	春を告げる魚。春の解禁日には、漁港が水揚げに沸きます。
夏	ウナギ	愛知県は全国第2位の養殖生産県です。河口などで採れた稚魚を養殖池に入れ、半年から1年半かけて育てます。若いウナギが中心に出荷され、柔らかさが特徴です。
	シラス	イワシの稚魚の総称で、釜ゆでした「ちりめん(じゃこ)」は愛知の特産品です。春から秋にかけて漁獲されます。
秋	ガザミ	「ワタリガニ」と呼ばれ、長距離を泳いで移動します。ズワイガニやタラバガニにも負けないうまさです。
	スズキ	「セイゴ」、「マダカ」、「スズキ」と成長とともに名前が変わるめでたい出世魚です。
冬	トラフグ	天然トラフグの漁獲量は全国有数。冬の味覚の王様です。
	ハリ	愛知県は全国有数の養殖生産県で、伊勢湾・三河湾の栄養たっぷりです。干漏で養殖する光景は冬の風物詩となっています。

海ごみの影響

マイクロプラスチック問題

ゴミとして海に流れ出たプラスチックは、紫外線や温度差、波や砂によって小さく砕かれていきます。このうち直径5mm以下に小さく砕けたプラスチックを「マイクロプラスチック」と呼びます。マイクロプラスチックは動物プランクトン、魚、鳥などが間違えて食べてしまうことから、食物連鎖を通して汚染が広がっていく可能性があります。また、これらのプラスチック片にはPCBなどの有害物質が付着していることがあり、これを食べた魚の脂肪に有害物質が濃縮されているおそれもあります。

東京農工大の高田秀重教授らのチームが、東京湾で捕ったカタクチイワシ64匹の消化管を調べたところ、約8割にあたる49匹から計150個のマイクロプラスチックを検出しました。このうち、0.1～1ミリの大きさのものが約8割を占めたそうです。



マイクロプラスチック

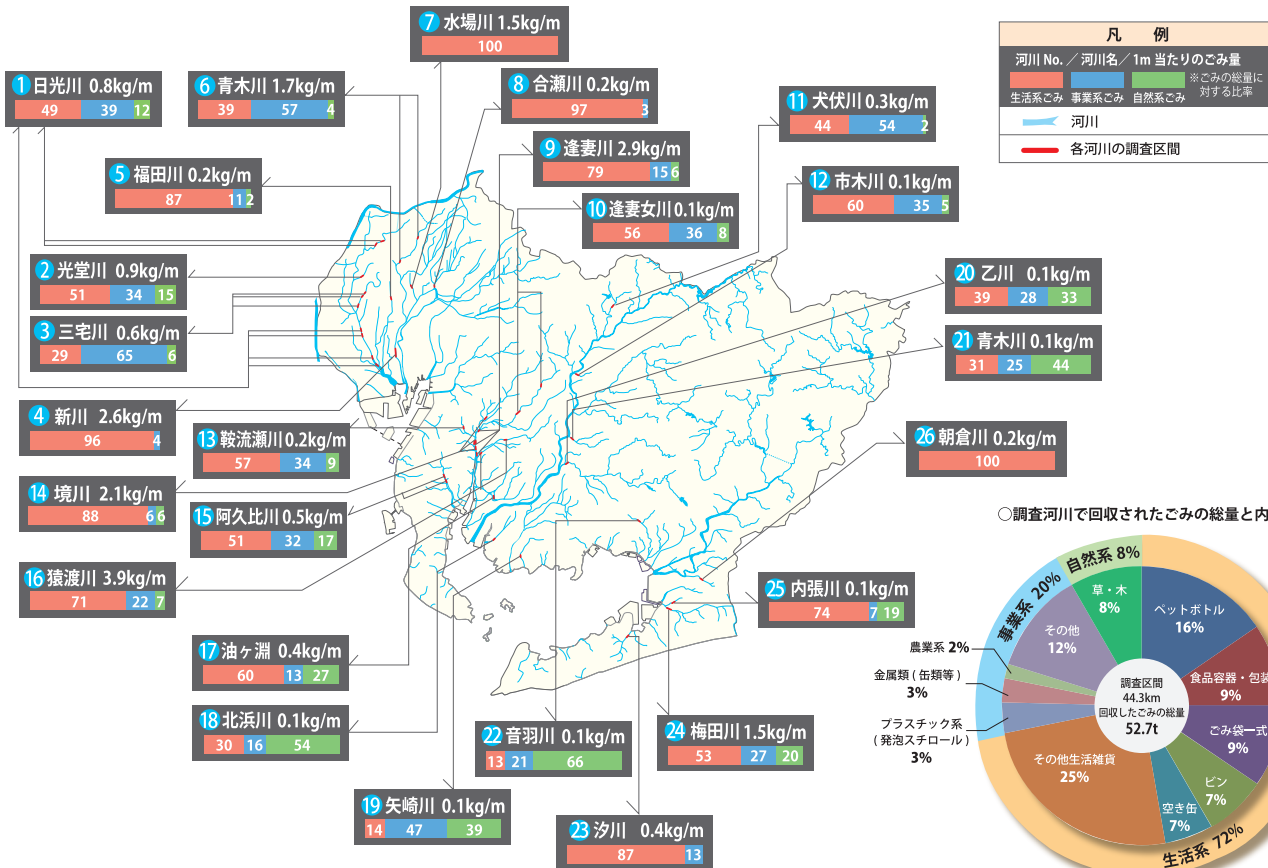
河川ごみの状況

川のごみの多くは「生活系ごみ」

海ごみは、海岸利用者により散乱したごみのほか、内陸部にあるごみや流木が河川を通じて海岸に漂着するものがあると考えられます。

愛知県が平成25、26年度に、県が管理する河川のうち26 河川（調査区間44.3km）で調査を実施したところ、回収した52.7tのごみのうち生活系ごみが実に72%を占めました。

なお、平均すると川1m当たり約1.2kgのごみが捨てられていることになります。



平成 25 年度・26 年度愛知県「河川ごみ回収調査」データより
 ※愛知県が管理する河川で調査を実施

この図と円グラフは、パンフレット「川も海も、ごみ箱じゃない！」の裏表紙に掲載しています。
<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/images/download/pdf/hojyo2.pdf>

指導に役立つリンク集

● 海ごみ

あいちのうみのコト ————— 愛知の海ごみ問題について、環境学習プログラムやクイズ、動画をとおして楽しく学習するサイトです。
<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>

「あいちのうみのコト」に含まれるコンテンツ(一部)

- パンフレット「川も海も、ごみ箱じゃない!」 — <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/images/download/pdf/hojyo2.pdf>
- 環境学習プログラム【海岸版】 ————— <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/program.html>
- 補助教材「海のごみと生きものたちへの影響」 <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/images/download/pdf/hojyo.pdf>
- 写真教材 ————— <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/images/download/pdf/photo.pdf>
- 海岸漂着物クイズ ————— <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/quiz/index.html>

環境省 海洋ごみ(漂流・漂着・海底ごみ)対策 — 国の漂流・漂着ごみ対策を紹介しています。
http://www.env.go.jp/water/marine_litter/

一般社団法人JEAN ————— 漂着ごみ・散乱ごみの調査やクリーンアップを通じて海や川の環境保全を行うNGOです。
<http://www.jean.jp/>

● あいちの海・川

愛知県建設部港湾課 ————— 愛知県の港湾や漁港について紹介しています。
<http://www.pref.aichi.jp/kowan/>

愛知県建設部河川課 ————— 愛知県の河川や海岸について紹介しています。
<http://www.pref.aichi.jp/kasen/>

愛知県農林水産部水産課 ————— 愛知県の水産業や干潟の役割、潮干狩り情報等を紹介しています。
<http://www.pref.aichi.jp/suisan/>

三河湾里海写真館 ————— 三河湾の風景、遊び・レジャー、働く人々、生きものの写真を掲載しています。
<http://www.pref.aichi.jp/suisan/satoumishasinkan/nowsatoumi/now.html>

● 河川・海岸での清掃活動

環境ボランティアサークル 亀の子隊 ————— 渥美半島「西の浜」の清掃活動を行うボランティアサークルです。
<http://www.kamenoko.org/>

● ごみの3R

ごみゼロ社会推進あいち県民会議 ————— 住民、事業者、行政が連携し、一体となってごみゼロ社会の形成を推進しています。
<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sigen-ka/ippai/gomizero/>

あいち資源循環ナビ ————— 愛知の資源循環に関する情報発信のためのポータルサイトです。
<http://aichi-shigen-juankan.jp/>

3R活動推進フォーラム ————— 3Rに関する啓発や、情報収集・提供を行っています。
<http://3r-forum.jp/>



■発行・お問い合わせ先

愛知県環境部資源循環推進課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL:052-954-6234 FAX:052-953-7776

E-mail:junkan@pref.aichi.lg.jp

発行:平成29年2月